

聖隷横浜病院を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	回復期リハビリテーション病棟における退院前訪問指導実施対象者の分析 —自宅退院後の転倒と内服状況、排泄関連障害との関連について—
当院の研究責任者	前田優
他の研究機関および 各施設の研究責任者	特になし
本研究の目的	本研究の目的は、多疾患併存を有する高齢者への退院前訪問指導において、作業療法士が認識している役割と実践上の困難さ、その対応を明らかにすることである。そして、多職種との情報共有において、より効果的な手段や方法を確立する。また、対象者の属性として、重複障害を有する対象者が増加傾向にあり、重複する疾病や障害特有の問題と、その対応の難しさを明らかにする。
調査データ 該当期間	2024年4月1日～2025年3月31日（2024年4月1日以降に当院東1階病棟入院し、3月31日までに自宅退院された方）
研究の方法 （使用する資料等）	2024年度に当院回復期病棟に入院された192名のうち自宅退院し、退院前訪問指導実施を自視した52名を対象に、退院先と退院後の生活状況を電子カルテにて後方視的に調査する。当院の「排尿ケアチーム」「骨粗鬆症リエゾンチーム」が協同して取り組んでいる排泄に関わる転倒予防の観点と、服薬状況との関連について分析する。データ解析結果を踏まえ、退院前訪問指導における要点を考察し、今後の入退院支援についてより効果的な方法について検討する。
試料・情報の 他の医療機関への提供	特になし
個人情報の取り扱い	2024年4月1日以降に当院東1階病棟入院し、3月31日までに自宅退院された方を対象に、カルテ記録を参照し、振り返り調査する。利用する情報から氏名や住所などの対象者を直接特定できる個人情報は削除し匿名化を行う。倫理的配慮として、対象者は強制されることはなく、参加に同意しない場合には問い合わせ先に連絡をいただき、その際、参加同意しないことで不利益を被ることが一切ないことをお伝えする。
本研究に係る資金 （利益相反）	本研究に係る利益相反する企業等はない。
お問合せ先	聖隷横浜病院 リハビリテーション課 作業療法士 前田優
備考	特になし